



CLUB PROFILE

SHIZUOKA BlueRevs



BIND AND TRY

MISSION

革新と情熱で、
心躍る最高の感動をつくりだす

ラグビーの世界で、最高峰にチャレンジする。
フィールドの中でも、外でも、世界と対等以上に渡り合う。
そのために、
私たちにしかできないアイデアと熱量と想いを結束し、
「最高だと思える瞬間」「心躍る感動」を
つくり続けます。

VISION

静岡から世界を魅了する、
日本一の
プロフェッショナルラグビークラブをつくる

静岡県を代表するクラブとして、
ファン・地域・パートナーとともに、
プレーのみならず、
ラグビーに関するすべての分野で世界最高峰に挑んでいきます。
『SHIZUOKA PRIDE』を胸に、
日本、世界で語り継がれる強く愛されるクラブを目指し、
ラグビー界を牽引します。

BRAND MESSAGE

BIND & TRY

シズオカをバインドする。
シズオカでトライする。

ラグビーというスポーツを通して、
静岡を、ここに暮らすすべての人々を、
ブルーレヴズに関わる全てのステークホルダーを
繋ぎ、束ねる(BIND)ハブとなる。

フィールドの上では勝利とその先にある日本一を
静岡にもたらし、
フィールドの外でも革新と情熱で
ラグビー界に変革をもたらし、
世界最高峰に挑戦(TRY)し続ける。



エンブレム

ヤマハ発動機ラグビー部の初代ジャージのデザインである水色のボーダーライン(左側)と、ホストエリアでありチーム名でもある「静岡」を象徴する富士山と青い空・海(右側)をモチーフとして組み合わせることで、過去と未来の融合を表現しています。また、中央に位置する赤い“5Hearts”(ファイブハーツ)は、ヤマハララグビーの哲学を表し、時代が変わっても変わらないヤマハスタイルを象徴しています。



クラブロゴ

ラグビーの持つ力強さと、ワクワク感や人々の心を動かす“Revs”なイメージを表現しています。“B”には静岡の象徴である富士山を取り入れ、また、“L”は叩いて研いで磨き上げることにより輝きを放つ草薙の剣(くさなぎのつるぎ)をモチーフとし、BlueRevsの目指すチームづくりのイメージを重ねました。静岡から世界を魅了し、日本一のプロフェッショナルラグビークラブをつくるというチームの姿勢を示しています。

レヴズ(公式マスコット)

富士山の麓の神社に祭られたヤマトタケルが現代に顕現した姿といわれている。

静岡ブルーレヴズの試合を見たことをきっかけにラグビーにハマり、日々試合を観戦。力強い選手達のぶつかり合いやそのひたむきな姿を見て自らモチベーションを高めている。

武術・剣術に長け、草薙の剣から放たれる技で悪天を打ち消したり選手たちを鼓舞する姿はまさにチームの守護神。静かに、しかし激しく燃える青い炎のように、心に秘めた熱い気持ちによって髪はブルーに染まっている。



ご挨拶



静岡ブルーレヴズ株式会社
代表取締役社長

山谷 拓志

平素より静岡ブルーレヴズをご支援・ご声援いただき、誠にありがとうございます。

スタジアムで声援を送ってくださるレヴニスタの皆様。
日頃からクラブを支えてくださるスポンサー・サプライヤーの皆様。
そして、自治体やメディアなど多方面にわたる関係者の皆様へ、心より御礼申し上げます。

「静岡の誇りを胸に、ラグビーを通じて心躍る感動を届ける」
この理念を実現するため、静岡ブルーレヴズは日々挑戦を重ねております。
2025-26シーズンは、クラブにとって節目となる重要な一年。
昨季の悔しさを糧とし、さらなる進化を遂げる覚悟です。

新たな戦力の加入、育成の成果。
これらが融合し、チームは確実に変化を遂げています。
ブルーレヴズらしいスピードと一体感で、記憶に残るプレーをお見せする所存です。
スタジアムに足を運びたくするような魅力づくりも強化中。
熱気、迫力、一体感。
現地でしか味わえない価値を、より多くの方に体験していただきたいと考えております。

皆様の声援が、選手たちの力。
その一声が、逆境を跳ね返す大きな原動力となります。歓喜と感動に満ちた一年へ。
静岡ブルーレヴズは、これからも歩みを止めません。

引き続き、熱いご声援を賜りますようお願い申し上げます。

CONTENTS

ご挨拶	P4	育成	P12
連携協定パートナー	P5	普及活動	P13
戦績・数字で見るブルーレヴズ	P6	SCRUM Action ~結束の力で未来を創る~	P14
選手・チームスタッフ紹介	P7	Company Profile・レヴズドリームファンド	P15
事業実績	P8	HISTORY	P16・17
エンターテインメント & ホスピタリティ	P9	2025-26シーズン静岡ブルーレヴズ オフィシャルパートナー	P18・19
ホストタウン	P10・11		

シズオカをバインドする。



BIND & TRY



シズオカでトライする。



連携協定パートナー

自治体



2025年10月末時点

産学連携



静岡聖光学院中学校・高等学校



静岡産業大学



静岡県立清水南高等学校・同中等部

海外クラブ



スタッド・トゥールーザン
(フランス)



ベイ・オブ・プレントーラグビーユニオン
(ニュージーランド)

戦績

	2022 シーズン 16戦 5勝 11敗 8位	2022-23 シーズン 16戦 5勝 2分 9敗 8位	2023-24 シーズン 16戦 6勝 2分 8敗 8位	2024-25 シーズン 18戦 14勝 4敗 5位
総得点	327	404	501	616
総トライ数	47	55	72	91
スクラム 勝利率	88%	87%	94%	93%
チームトライ ランキング	1位 クワッガ・スミス (9トライ) 2位 マロ・ツイタマ (6トライ) 3位 ヴィリアミ・タヒトゥア (4トライ)	1位 マロ・ツイタマ、日野 剛志 (9トライ) 2位 クワッガ・スミス (6トライ) 3位 プリン・ホール (3トライ)	1位 マロ・ツイタマ (15トライ) 2位 マルジーン・イラウア (5トライ) 3位 日野 剛志 (5トライ)	1位 北村 瞬太郎 (15トライ) 2位 マロ・ツイタマ (11トライ) 3位 ヴァレンス・テファレ (8トライ)
リーグワン タイトル	ベスト15／クワッガ・スミス (N08)	ベスト15／クワッガ・スミス (N08) プレーヤー・オブ・ザ・シーズン※／ クワッガ・スミス	ベスト15／マロ・ツイタマ(WTB) 最多トライゲッター／マロ・ツイタマ ゴールデンショルダー※／ ジョーンズリチャード剛 社会貢献賞※／チーム受賞	ベスト15／ マロ・ツイタマ(FL) ヴァレンス・テファレ(WTB) 新人賞／北村 瞬太郎(SH)

※選手間での投票

データ提供



数字で見るブルーレヴズ

選手の出身国



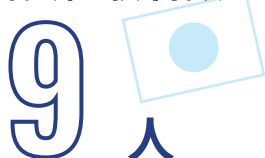
選手の平均年齢



選手の社員率



日本代表経験者数



各国代表Cap数



選手の合計体重



※2025年10月末時点

※2025年10月末時点

(平均101Kg)

2025-26 SEASON PLAYERS

(2025年10月末時点)

PR 伊藤 平一郎 Heichiro Ito 日本代表 6 Caps	PR 河田 和大 Kazuhiro Kawata	PR 郭 玫慶 Bunkei Kaku 台湾代表 3 Caps	PR 山下 憲太 Kenta Yamashita	PR 茂原 隆由 Takayoshi Mohara 日本代表 6 Caps	PR ショーン・ヴェーテ Sean Vete	PR 中山 律希 Ritsuki Nakayama	PR シアレ・マヒナ Siale Mahina
PR 稲場 巧 Takumi Inaba	PR 本山 佳龍 Keitatsu Motoyama	HO 日野 剛志 Takeshi Hino 日本代表 5 Caps	HO 平川 隼也 Toshiya Hirakawa	HO リッチモンド・トンガタマ Richmond Tongatama	HO 八木澤 龍翔 Ryuto Yagisawa	HO 作田 駿介 Shunsuke Sakuta	LO 大戸 裕矢 Yuya Odo 日本代表 5 Caps
LO 桑野 詠真 Eishin Kuwano 日本代表 2 Caps	LO 三浦 駿平 Shumpei Miura	LO マリー・ダグラス Murray Douglas	LO ジャック・ライト Jack Wright	LO ジャスティン・サングスター Justin Sangster	LO ダニエル・マイアヴァ Daniel Maiava	FL 杉原 立樹 Riki Sugihara	FL 庄司 拓馬 Takuma Shoji
FL ジョンズリチャード剛 Richard Goh Jones	FL 齋藤 良明慈縁 Lamin Dieng Saito	FL ヴェティ・トゥポウ Vueti Tupou	FL シモン・ミラー Simon Miller	FL 福田 大晟 Taisei Fukuda	NO8 クワッガ・スミス Kwagga Smith 南アフリカ代表 59 Caps	NO8 舟橋 諒将 Ryosuke Funahashi	NO8 マルジーン・イラウア Malgene Ilaua 日本代表 7 Caps
NO8 シオネ・ブナ Sione Vuna	SH 岡崎 航大 Kodai Okazaki	SH 北村 瞬太郎 Shuntaro Kitamura 日本代表 1 Cap	SH 加藤 大冴 Taiga Kato	SH サネレ・ノハンバ Sanele Nohamba	SH 細矢 聖樹 Sena Hosoya	SO サム・グリーン Sam Greene 日本代表 4 Caps	SO 家村 健太 Kenta Iemura
SO 筒口 允之 Makoto Tsutsuguchi	CTR ヴィリアミ・タヒトゥア Vilami Tahitua トンガ代表 9 Caps	CTR 伊藤 峻祐 Shunsuke Ito	CTR シルビアン・マフーザ Sylvian Mahuza	CTR チャールズ・ピウタウ Charles Pitau ニュージーランド代表 17 Caps	CTR 岡崎 颯馬 Soma Okazaki	CTR 五島 源 Gen Goto	CTR セミ・ラドラドラ Semi Radradra フィジー代表 11 Caps
WTR 矢富 洋則 Hironori Yatomi	WTR マロ・ツイタマ Malo Tuitama 日本代表 9 Caps	WTR 楨 瑛人 Eito Maki	WTR 杉本 海斗 Kaiko Sugimoto	WTR ジャック・ティム Jack Timu	WTR ヴァレンス・テワレ Valynce Te Whare	FB 奥村 翔 Kakeru Okumura	FB 山口 楓斗 Futo Yamaguchi

COACHES & STAFF



監督
藤井 雄一郎

監督
アシスタントコーチ
アシスタントコーチ
アシスタントコーチ
アシスタントコーチ
アシスタントコーチ
プレイングコーチ
レフリングアドバイザー
アナリスト
アナリスト

藤井 雄一郎
長谷川 慎
堀川 隆延
田村 義和
矢富 勇毅
ジョン・ドネヒュー
ヴィリアミ・タヒトゥア
クリス・ボロック
瀬尾 勝太
小藤 大洋

通訳
ITコーディネーター
チームマネジャー
アシスタントマネジャー/通訳
ヘッドS&Cコーチ
S&Cコーチ
S&Cコーチ
S&Cコーチ
ヘッドアシレティックトレーナー
アシレティックトレーナー
アシレティックトレーナー

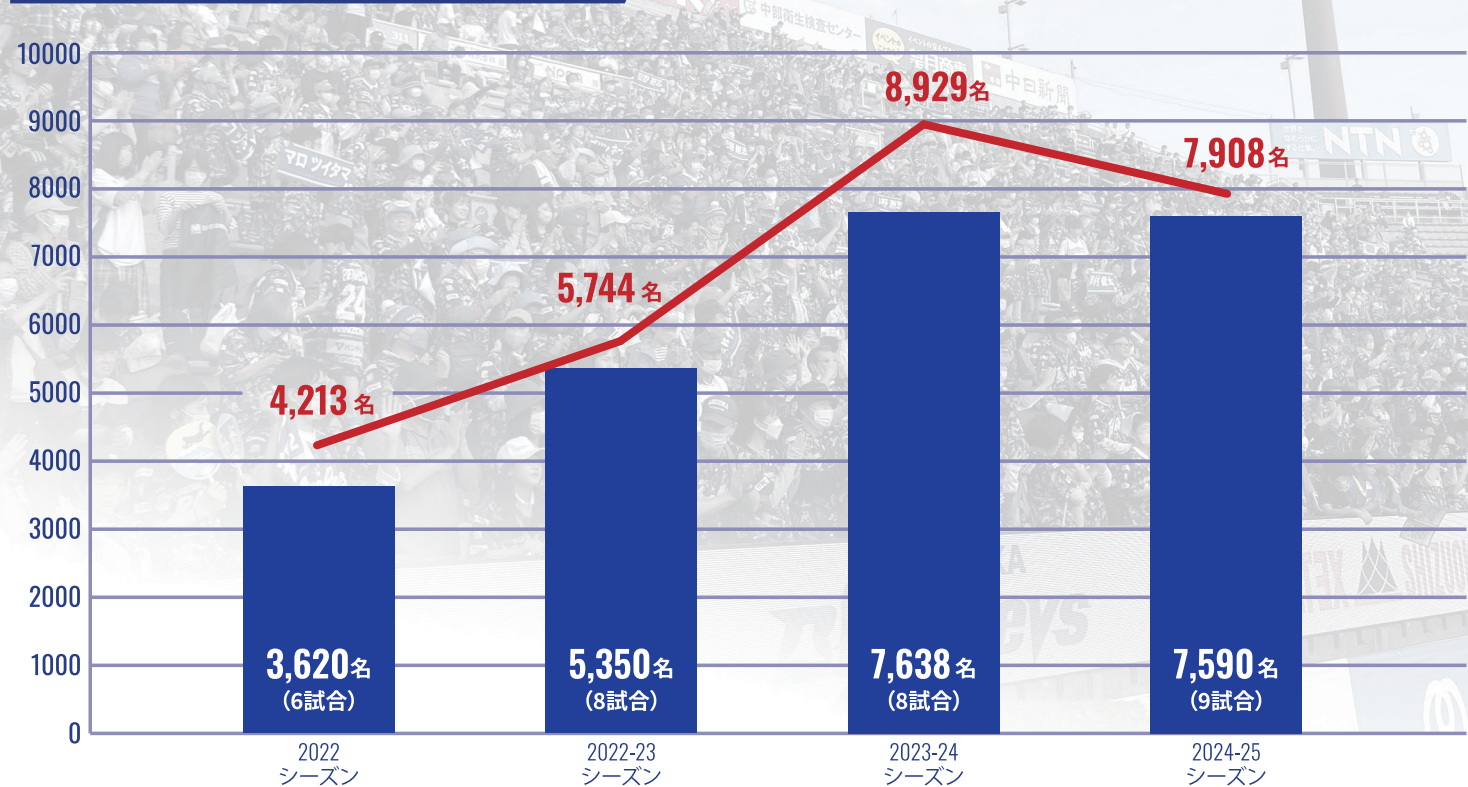
吉水 奈翁
松山 貴博
中村 彰
赤松 魁
アダム・キーン
佐藤 大起
山岡 楽
尾崎 耕一郎
濱野 武彦
相澤 基貴
荒谷 恭介

アシレティックトレーナー
チームドクター
チームドクター
チームドクター
リカバリースペシャリスト
メディカルアドバイザー
管理栄養士
強化部長
チームマネジメントユニットユニットリーダー
チームマネジメントユニットパートナー・アライアンス
選手編成・選手リクルート

山口 裕之
猿川 潤一郎
塩崎 太郎
曾根田 光
村田 隆郎
内山 啓
松本 恵美子
山谷 拓志
加藤 圭太
正本 豊
西内 勇人

観客動員数

▶▶ ホームゲーム平均観客数推移



OFFICIAL FANCLUB CLUB REVS 会員数

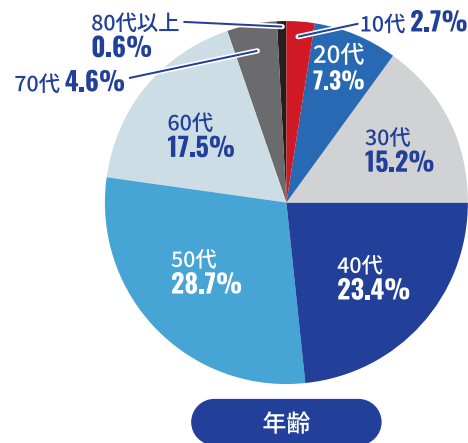
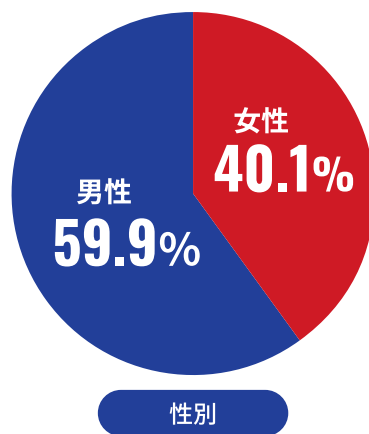
(2025年5月8日現在)

2022シーズン 11,903人

2022-23シーズン 18,696人

2023-24シーズン 30,457人

2024-25シーズン 38,874人



SNSフォロワー数



(2025年10月末時点)

エンターテインメント & ホスピタリティ

毎試合、異なるテーマでエンターテインメントを追求した静岡ブルーレヴズらしいホームゲーム

ヤマハスタジアム・エコパスタジアム・IAIスタジアム日本平と3つのスタジアムで開催するホームゲームでは、毎試合異なるテーマで非日常空間を味わえるようなイベントや企画が満載。

また、ご来場いただいた皆様に感動と興奮を届けるエンターテインメントを追求しつつ、再びスタジアムに足を運びたいくなるようなホスピタリティの向上にもクラブ一丸となって努めております。



静岡ブルーレヴズ公式ボランティア

REV'S CREW

SHIZUOKA BlueRevs official volunteer

静岡ブルーレヴズが掲げるミッション「革新と情熱で、心躍る最高の感動を作り出す」その心躍る感動を生み出す原動力となりたい、そんな思いから「REV'S CREW」は設立されました。

従来の試合会場の雰囲気以上に、親しみやすく、前向きで明るいパワーを生み出しながら、観客の皆様へ感動を提供するだけでなく、何よりも参加するボランティア自身が楽しめるボランティア活動を提供していきたいと考えています。



ホームスタジアム



ヤマハスタジアム（磐田市）

開幕戦や最終戦などもっと多くの試合を戦うスタジアム。毎試合様々なテーマのイベントで、場外のレヴニスタ広場やキッズパークは賑わい、スタジアム内ではレヴニスタの声が響き渡り選手を後押しする。



エコパスタジアム（袋井市）

ラグビーワールドカップ2019™日本大会で日本代表が強豪アイルランド代表を破る金星を挙げた「シズオカ・ショック」の地、エコパスタジアム。日本ラグビーの歴史に大きな一歩が刻まれたこのスタジアムでも毎シーズン試合を行っています。



IAIスタジアム日本平（静岡市）

「ネンイチ・アイスタ」をテーマに掲げ、毎年1試合を開催。2024-25シーズンにはクラブとしては初の3rdユニフォームとなる～ALL SHIZUOKA ジャージ～を着用して試合を行った。Jリーグのベストピッチ賞を過去9回受賞した芝も魅力。

中学2年生一斉観戦（磐田市）



磐田市をふるさととして誇りに想い、将来に渡って愛する気持ちを育むことを目的に、市内全10校の中学2年生が一斉に試合を観戦。2024年から始まり、延べ人数は約3,300人。

県民招待



パートナー市町にお住まいの方を
ホームゲームへご招待

REVSマイルキッズPASS supported by スター精密



保育園・幼稚園・こども園・小学校・特別支援学校のお子様と
その保護者の招待

特産品PR



スタジアム内の特設ブースなどを
活用して自治体の特産品をPR

広報・啓発活動



警察や消防などさまざまな啓発活動へ
選手やマスコットが協力

パフォーマンス



県内の中学・高校や、団体、アーティスト
にパフォーマンス機会の提供



ラグビースクール

ヤマハ発動機時代を含めると20年以上の活動実績。年中児から大人まで幅広い世代にラグビーを楽しむ機会を提供しています。技術だけでなくラグビーを通じた人間力の向上をサポートしています。

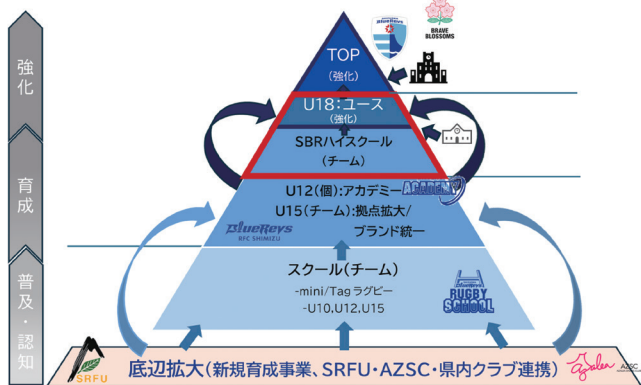
生徒数 **312名**(10月末時点)



アカデミー

小学校5年生～中学3年生を対象に2022年に活動開始。高校・大学のステージに繋がる基本スキルの習得から、静岡産業大学と連携した定期モニタリングによる体作りまで競技スキル向上をサポートしています。

生徒数 **51名**(10月末時点)



ブルーレヴズ U18

高校生世代が其々が希望する進路に進みながらラグビーを続ける環境を提供することを目的に、2026年春に始動。県高体連や県ラグビー協会とも連携し、合同チームとして「花園」を目指せる環境づくりも目指すリーグワン初の試み。

2026年春始動



ブルーレヴズRFC清水

静岡県立清水南高等学校・中学校との産学連携協定をもとに、2023年4月に設立。同校中等部ラグビー部を地域クラブ化し、県中部などの競技人口拡大に取り組みます。



アザレア・セブン

2023年11月から一般社団法人アザレア・スポーツクラブのゴールドパートナーとして、さらに連携を深めて女子ラグビーも応援。年齢・性別関係なく、県全体のラグビー発展に取り組んでいます。



普及活動



REVSキャラバン supported by 大興金属

県内自治体と連携しながら、ブルーレヴズとして主体的に行うラグビー普及活動。選手や育成普及スタッフが県内の幼稚園・保育園・こども園・小学校・中学校・高校・特別支援学校を訪問し、ラグビー体験、タグラグビー教室、夢語り授業などを行っています。



活動実績	2022年	2023年	2024年	2025年
	205回	240回	243回	152回
	11,979人	13,616人	13,373人	8,019人

(2025年10月末時点)



ラグビーディスカバリー supported by しずぎん

2024年に始まり、これまでに7回の実施、延べ514名が参加。初めてのスポーツにチャレンジする機会として、体を動かしながらラグビーの魅力や楽しさを感じてもらい、誰でも気軽に参加できる初心者向けのラグビー体験イベントです。



その他の普及活動

企業向け研修



自治体や企業を対象に、タグラグビーを活用したチームビルディング研修

タグラグビー交流



社員の健康増進や一体感醸成を目的とした交流にタグラグビーを採用

どろんこラグビー



どろんこ遊びとラグビー授業を組み合わせ、園児と触れ合い

静岡ブルーレヴズは、事業活動を通じて社会課題の解決に貢献するためのプロジェクト《SCRUM Action》を2022年11月から開始しました。多くの社会課題のうち、持続可能な開発目標（SDGs）とも深く結びつく「Ecology」「Food」「Diversity」を3つの重点テーマに定めています。SCRUM Actionは、ステークホルダーの皆さまとも結束して、スクラムのように力を合わせることで、より良い未来の創造に取り組んでいます。

3つの重点テーマ

01 ECOLOGY

- ・脱プラスチック
- ・カーボンニュートラル



カーボン・オフセット

リーグワン初のカーボン・オフセット付チケットを販売。試合運営に伴うCO2排出量をオフセットし環境に配慮した試合運営を実現。



HEROs PLEDGE

アザレア・スポーツクラブと連携して、使い捨てプラスチックごみ削減に取り組む。

02 FOOD

- ・フードロス
- ・食育
- ・地産地消



フード・ドライブ

2024-25シーズンはホームゲームで3回実施。合計で442点75kgもの食材が集まり、フードバンクふじのくにに寄付。



地産地消【海老芋ブース】

ヤマハ発動機ジュビロOBでもある遠藤広太さんが丹精込めて育てた磐田市の特産品である海老芋の詰め放題と海老芋塩シヨコラを販売。

03 DIVERSITY

- ・国際交流
- ・障がい者支援
- ・LGBTQ



Blue Ties

2023年よりヤマハ発動機(株)と開始。ホームゲーム会場にて寄付いただいたウェアをヤマハクリーンウォーターシステムを導入しているケニア共和国に届ける。



パラスポーツの啓発

パリ2024パラリンピック金メダリストの若山英史氏(沼津市出身)をゲストに、トークショーやパラスポーツ体験コーナーを実施。

河田 和大 選手(静岡ブルーレヴズ SCRUM Action アンバサダー)

SCRUM Actionを通じて、社会課題の解決に貢献できるよう、選手も地域・パートナー・レヴニスタの皆さまと一緒に取り組んでいきたいと思っています。SCRUM ActionはSDGsとも深く結びついています。未来のために、まずは身近なことから一緒に学び、楽しみながら取り組んでいきましょう！

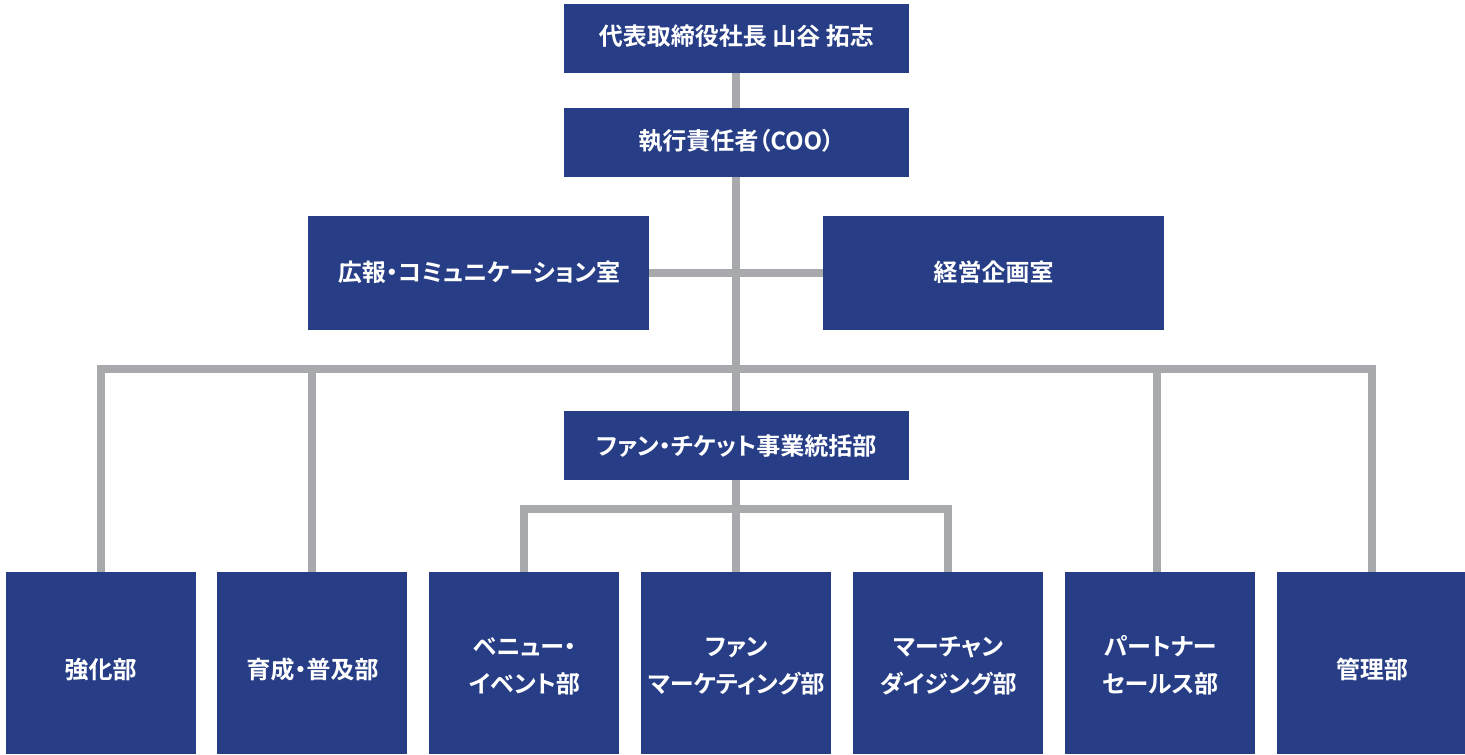
詳しい活動は
コチラ▼▼▼



Company Profile



組織体制



静岡ブルーレヴズ株式会社 会社概要

会社名	静岡ブルーレヴズ株式会社 (SHIZUOKA BlueRevs, Ltd.)	代表取締役社長	山谷 拓志
設立	2021年(令和3年)6月22日	取締役	渡部 克明
資本金	1億円	取締役	岡本 知彦
株主	ヤマハ発動機株式会社(100%)	社外取締役	鈴木 健一郎
本社オフィス	〒438-0071 静岡県磐田市今之浦3-8-8	社外取締役	和田 由佳子
クラブハウス	〒438-0002 静岡県磐田市大久保891番地106	従業員数	37名
		事業内容	ラグビートームやラグビースクールの運営、ホームゲーム興行他

(2025年10月末時点)

レヴズドリームファンド



静岡ブルーレヴズでは、個人・団体および法人向けの寄付金募集プロジェクト＜レヴズドリームファンド＞を立ち上げました。いただいた寄付は、トップチームの強化・ラグビーの普及振興・社会貢献活動に充当し、当クラブのミッションの実現をさらに推し進めてまいります。複数口の寄付をいただく場合、希望オプションも割り振ることが可能です。革新と情熱で、心躍る最高の感動をクラブと共に創り出しましょう。



HISTORY ~YAMAHA RUGBY FOOTBALL CLUB~

創部から関西制覇

1982-2002

- 1982 ヤマハ発動機ラグビー同行人会結成
- 1984 「ヤマハ発動機株式会社ラグビー部」創部、県内2大会を制覇
- 1987 磐田市大久保のヤマハ発動機総合グラウンドにラグビー専用グラウンドを建設
- 1988 静岡県社会人2部リーグ優勝／1部リーグ昇格
- 1990 静岡県内2大会制覇／関西社会人ラグビーCリーグ昇格
- 1991 関西社会人ラグビーCリーグ優勝／Bリーグ昇格
- 1994 第47回全国社会人ラグビー大会初出場
- 1997 関西社会人ラグビーAリーグ昇格決定
- 2002 関西社会人ラグビーAリーグ優勝／第55回全国社会人ラグビー大会出場 ベスト8



ジャパンラグビートップリーグ

2003-2021

- 2003-2004 ジャパンラグビートップリーグ開幕 初年度3位／第41回日本選手権ベスト4
チーム愛称を「ジュビロ」に改名
スタジアムが「ヤマハスタジアム」に改名される
- 2004-2005 ジャパンラグビートップリーグ準優勝／第42回日本選手権ベスト4
- 2005-2006 ジャパンラグビートップリーグ7位
チーム名を「ヤマハ発動機ジュビロ」に改名
- 2006-2007 ジャパンラグビートップリーグ3位／第44回日本選手権ベスト4
- 2007-2008 ジャパンラグビートップリーグ7位
- 2008-2009 ジャパンラグビートップリーグ7位
- 2009-2010 ジャパンラグビートップリーグ9位
ヤマハスタジアムで初の国際試合開催(イングランド州選抜)
- 2010-2011 ジャパンラグビートップリーグ11位、入替戦で残留を決める
- 2011-2012 清宮克幸監督就任/ジャパンラグビートップリーグ8位
東日本大震災後の釜石市で「復興祈願ラグビビッグドリームマッチ2011」開催
- 2012-2013 ジャパンラグビートップリーグ6位
- 2013-2014 ジャパンラグビートップリーグ5位
- 2014-2015 ジャパンラグビートップリーグ準優勝／第52回日本選手権初優勝
- 2015-2016 ジャパンラグビートップリーグ3位



- 2016-2017 ジャパンラグビートップリーグ準優勝／第54回日本選手権ベスト4
- 2017-2018 ジャパンラグビートップリーグ3位／第55回日本選手権3位
- 2018-2019 ジャパンラグビートップリーグ3位／第56回日本選手権3位
- 2019 トップリーグカップ戦11位
- 2020 堀川隆延が3度目の監督就任/開幕戦で過去最多13,875人が来場
新型コロナウイルス感染症拡大により第9節以降の全試合が中止となる
- 2021 ジャパンラグビートップリーグ9位



運営法人設立／ジャパンラグビー リーグワン

2021～

- 2021 日本初のプロフェッショナルラグビークラブ「静岡ブルーレヴズ」が発足
- 2022 JAPAN RUGBY LEAGUE ONE開幕 初年度8位
IAIスタジアム日本平で初のラグビー公式戦を開催
- 2022-2023 ジャパンラグビー リーグワン8位
埼玉パナソニックワイルドナイツの公式戦47試合無敗記録を止める
(44-25で勝利)
- 2023-2024 藤井雄一郎が監督就任/ジャパンラグビー リーグワン8位
クラブ創立40周年記念マッチ開催(ヤマハ発動機ジュビロOBvsワイルドナイツOB)
最終戦で静岡ブルーレヴズとして過去最多13,814名が来場
- 2024-2025 ジャパンラグビー リーグワン4位
クラブとしては初の3rdユニフォームとなる～ALL SHIZUOKAジャージ～
を展開
静岡ブルーレヴズとして初めてプレーオフトーナメント進出(最終順位5位)



2025-26 シーズン 静岡ブルーレヴズ

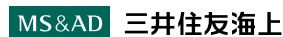
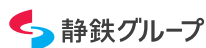
プラチナパートナー



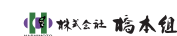
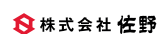
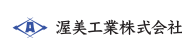
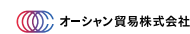
ダイヤモンドパートナー



ゴールドパートナー



シルバーパートナー



オフィシャルパートナー

メディアパートナー



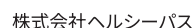
スクール/アカデミーパートナー



ブロンズパートナー

株式会社遠州日石	株式会社ウェルビーフードシステム	株式会社クラベ	税理士法人坂本&パートナー	株式会社サンヨークリーニング
株式会社JM	浜松ホトニクス株式会社	平野建設株式会社	株式会社フジコーポレーション	株式会社藤田鐵工所
ユービーサポート株式会社	あいネットグループ	ASTI株式会社	天方産業株式会社	NTN株式会社 磐田製作所
遠州トラック株式会社	株式会社互省製作所	静岡競輪	静岡隆嘉商会株式会社	シダックスコントラクトフードサービス株式会社
スマートエナジー磐田株式会社	竹田運輸株式会社	司ゴム電材株式会社	浜松いわた信用金庫	ボートレース浜名湖
浜松倉庫株式会社	株式会社ヤマ鋳螺	樂天堂整形外科	辛麺屋 樹元	日管株式会社
星光社印刷株式会社	株式会社望月商事	株式会社ジェイ・ブラッカ	株式会社アイジーコンサルティング	青島皮膚科医院
石川建設株式会社	西山病院グループ	株式会社イトー	磐田化学工業株式会社	内田計器工業株式会社
うちま呼吸器・アレルギークリニック	落合刃物工業株式会社	木内建設株式会社	株式会社協和アルテック	協和サンシンエンジニアリング株式会社
株式会社ケー・ジー・ケー	コーチ株式会社	小松工業株式会社	佐藤産業株式会社	株式会社三和製作所
須山建設株式会社	株式会社セイセイサーバー	清和海運株式会社	第一工業株式会社	株式会社大進
太陽建機レンタル株式会社	中部電力株式会社	株式会社トープラ	株式会社とやまかいご	株式会社トランスポートオオスギ
西伊豆プロジェクト	日興電気通信株式会社/ニコウプロセス株式会社	日光水産株式会社	日進電機株式会社	日本荷造運送株式会社
株式会社PANO	浜松ガスケツト株式会社	細谷精機株式会社	株式会社丸山コーポレーション	三菱電機株式会社
株式会社ハケ代造園	株式会社吉田	林工住宅株式会社	H.K.K株式会社&D.K.K株式会社	

オフィシャルサプライヤー



イオンモール浜松市野	MBC POWER	アルコ株式会社	大塚製薬株式会社	はごろもフーズ株式会社
株式会社ニューハレックス	有限会社石井育種場	株式会社オリゼ		

パートナーシップ協定締結 自治体



産学連携協定



海外パートナーシップ協定



静岡ブルーレヴズとのパートナーシップに関するお問い合わせは、下記よりお願いいたします。メールアドレス: partner@shizuoka-blurevs.com

BIND^{AND}TRY

お問い合わせ

静岡ブルーレヴズ株式会社 電話：0538-32-0206（平日10時～18時） メール：information@shizuoka-blurevs.com